

平成22年度

八女市人権問題に 関する市民意識調査結果

(ダイジェスト版)

茶のくに
八女・奥八女

CHANOKUNI YAME OKUYAME

八女中央大茶園

あいさつ

八女市では、人権が尊重され差別のない明るい社会の実現を目指し、各種の事業を進めているところです。

しかしながら、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解消には至っていない現状にあります。

市民一人ひとりが自分の問題として捉え、解消に向けた行動を起こすこと、より効果的な人権教育及び啓発が求められるところです。

こうしたことから、平成22年2月1日、1市2町2村の合併を機に、市では市民の人権問題に関する意識の実態を把握するため、「人権問題に関する市民意識調査」を実施いたしました。

本意識調査の結果を踏まえ、これまで取り組んできた人権施策の検証を行い、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づく人権教育・啓発基本指針等の策定に組み込み、人としての尊厳が守られるまちづくりに努めて参ります。

本意識調査の実施にあたり、意識調査に協力いただいた市民の方々はもとより、多大なご尽力をいただきました関係機関・社団法人福岡県人権研究所の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

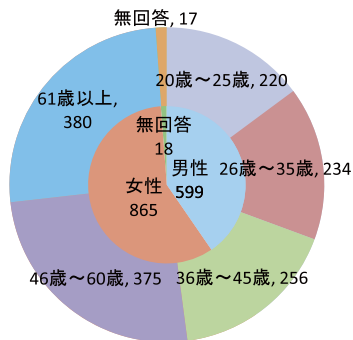
平成23年7月

八女市長 三田村 統之

市民意識調査回収実績について

属性別回収状況

性別・年齢別



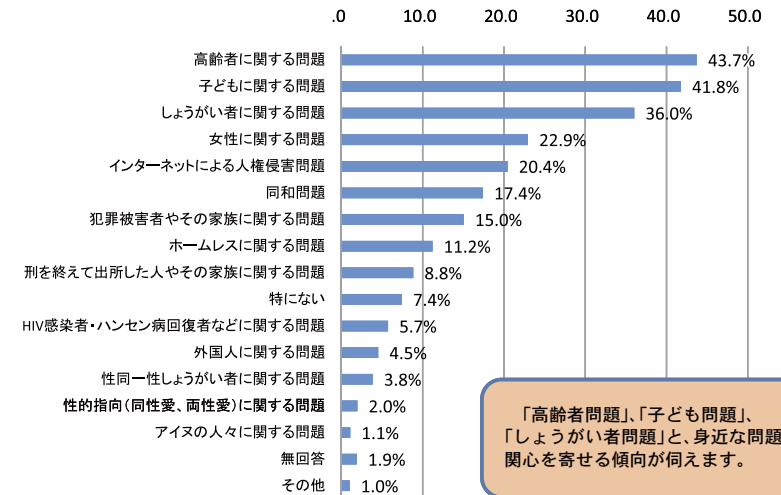
全体の回収率が約3割となっています。
性別では女性の回収率が男性を上回っています。
年齢別では高齢層回収率が高くなっています。
職業別(グラフは未掲載)では、自営業・農林水産業・民間企業・家事専業など全職種で平均的な回収となっています。

校 区 別	回収枚数	発送数	回収率
黒木中校区	302	836	36.1
福島中校区	236	886	26.6
西 中校区	190	743	25.6
南 中校区	181	729	24.8
立花中校区	162	510	31.8
見崎中校区	128	438	29.2
筑南中校区	82	298	27.5
上陽中校区	72	253	28.5
星野中校区	52	211	24.6
矢部中校区	42	96	43.8
校区無回答	35		
合 計	1482	5000	29.6

調査用紙発送数 5,000名
調査用紙の回収 1,488名 回収率 29.8%
内有効回収数 1,482名 有効回収率 29.6%

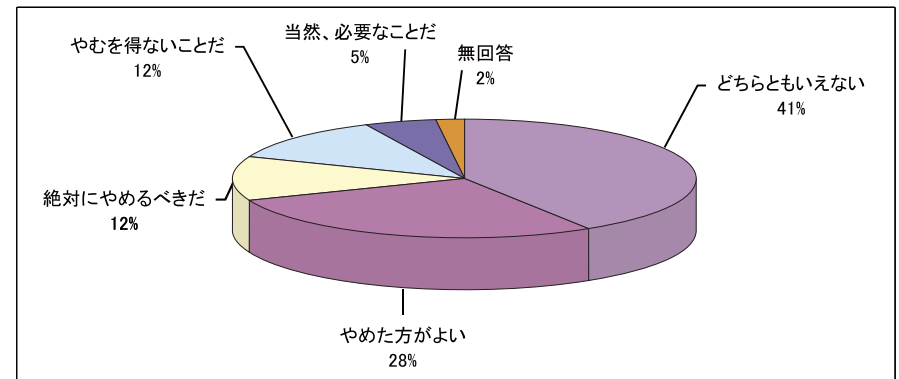
人権問題全般について

問 関心を寄せる人権問題(3つまで選択)



「高齢者問題」、「子ども問題」、「しょうがい者問題」と、身近な問題に関心を寄せる傾向が伺えます。

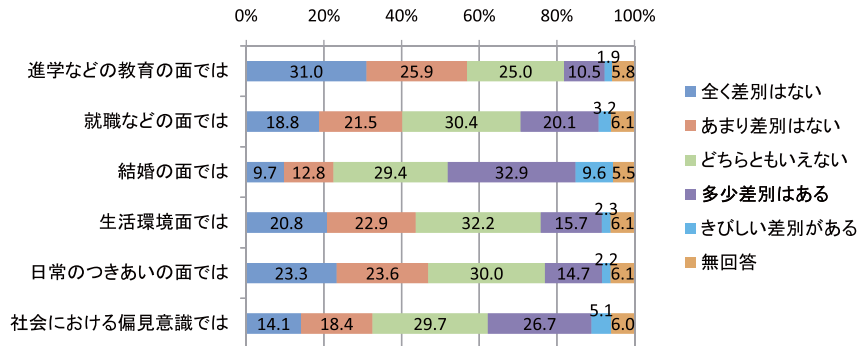
問 結婚や就職のときの身元調査や信用調査について



「絶対にやめるべきだ」「やめた方がよい」を合わせると40%を示しています。
その人自身の人柄や能力、適正以外のことを調査することにより、差別事象の発生につながるおそれがあることに対して理解が深まっていると言えます。

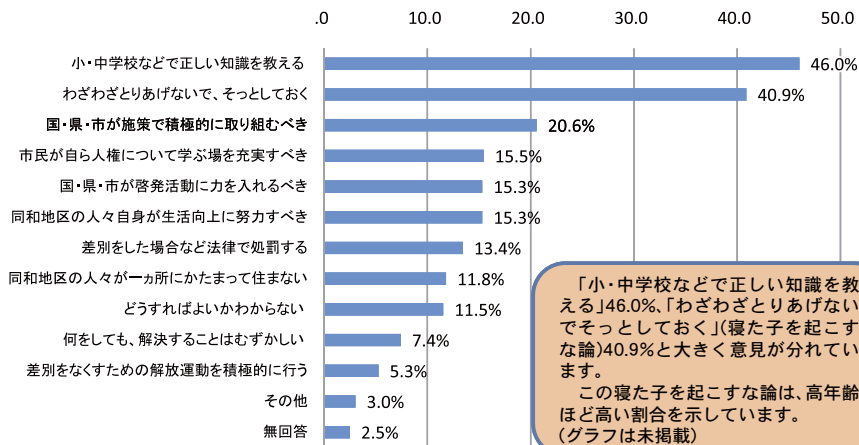
様々な人権問題について

問 同和地区の人々に対する差別はありますか



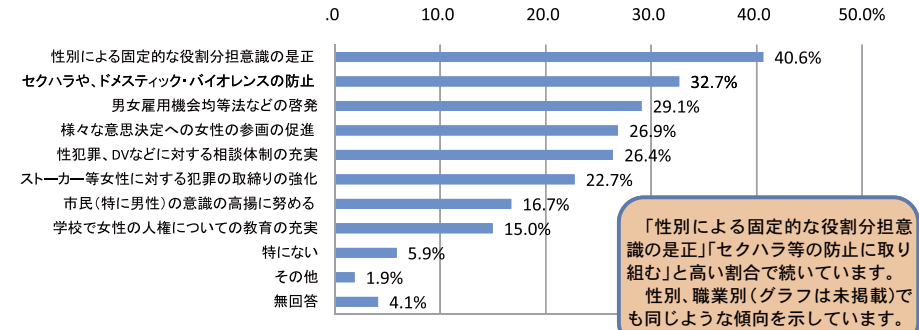
進学・就職・生活環境・日常のつきあいの面で、差別はあまりないと見えますが、結婚や社会における偏見意識などでは、まだ差別があると捉えている人が高い割合を示しています。

問 同和問題解決への望ましい方向性(3つまで選択)



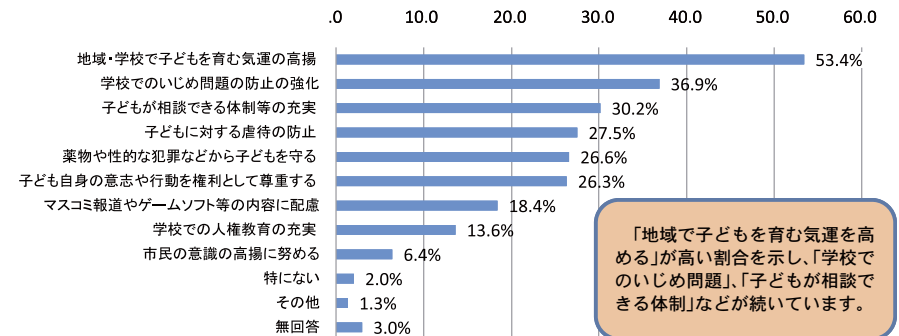
「小・中学校などで正しい知識を教える」46.0%、「わざわざとりあげないでそっとしておく」(寝た子を起こすな論)40.9%と大きく意見が分れています。この寝た子を起こすな論は、高齢層ほど高い割合を示しています。(グラフは未掲載)

問 女性の人権を守るため必要だと思われること(3つまで選択)



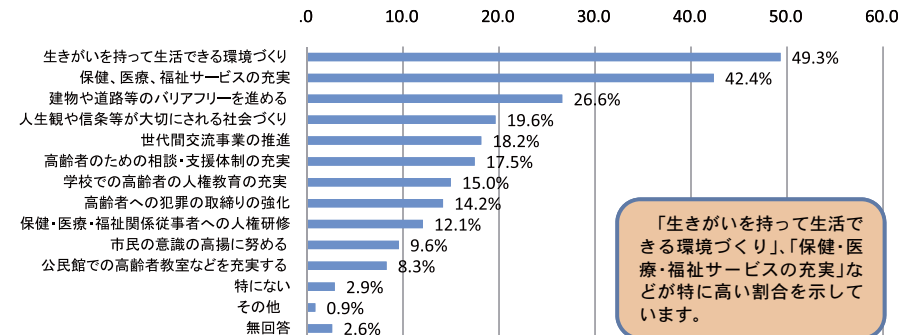
「性別による固定的な役割分担意識の是正」「セクハラ等の防止に取り組む」と高い割合が続いています。性別、職業別(グラフは未掲載)でも同じような傾向を示しています。

問 子どもの人権を守るため必要だと思われること(3つまで選択)



「地域で子どもを育む気運を高める」が高い割合を示し、「学校でのいじめ問題」、「子どもが相談できる体制」などが続いています。

問 高齢者の人権を守るため必要だと思われること(3つまで選択)



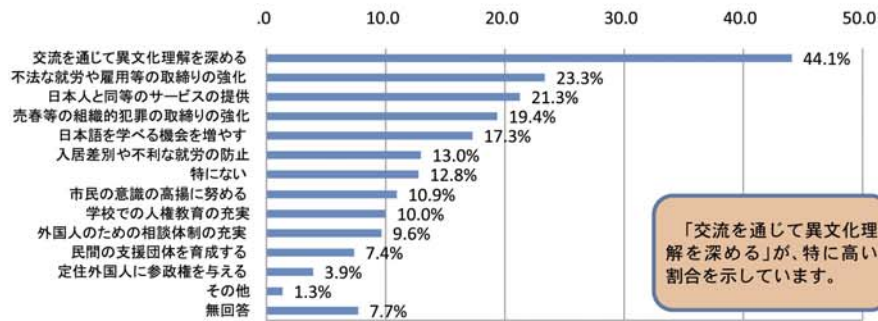
「生きがいを持って生活できる環境づくり」、「保健・医療・福祉サービスの充実」などが特に高い割合を示しています。

問 しょうがい者の人権を守るため必要だと思われること(3つまで選択)



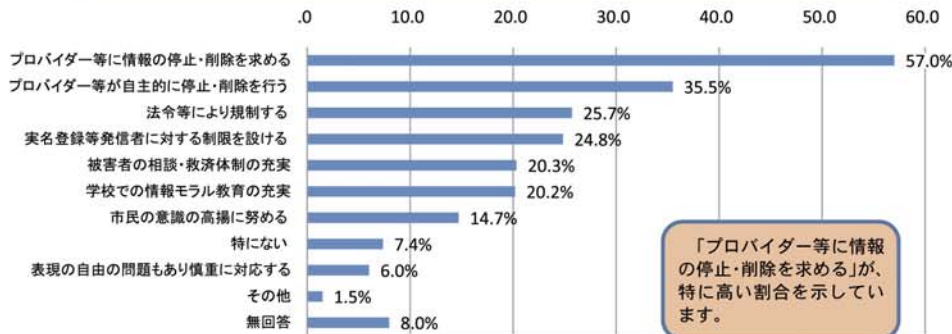
「地域でともに暮らせる社会を目指す」が、特に高い割合を示しています。

問 外国人の人権を守るため必要だと思われること(3つまで選択)



「交流を通じて異文化理解を深める」が、特に高い割合を示しています。

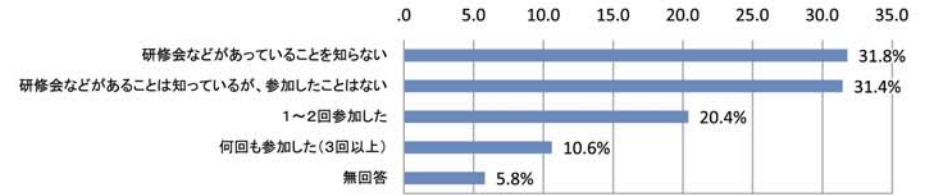
問 インターネットを使った人権侵害を防ぐため必要だと思われること(3つまで選択)



「プロバイダー等に情報の停止・削除を求める」が、特に高い割合を示しています。

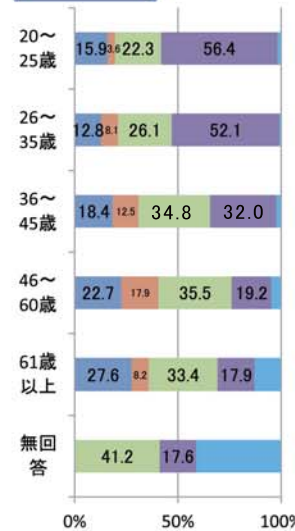
様々な人権問題の啓発について

問 人権に関する講演会・講座への参加状況

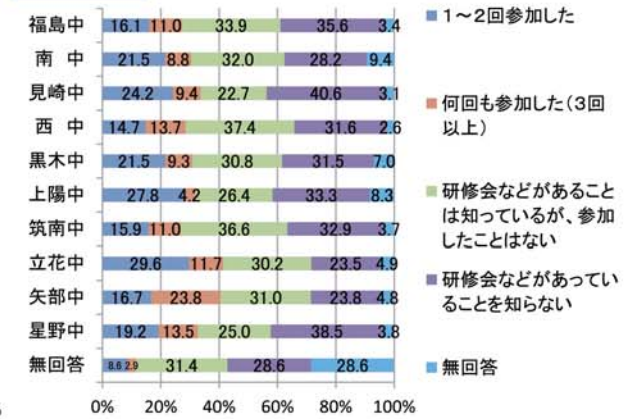


校区別での差異は見られませんが、「研修会があることを知らない」が、約3分の1を示しています。また、若い人程知らない傾向が強くなっています。

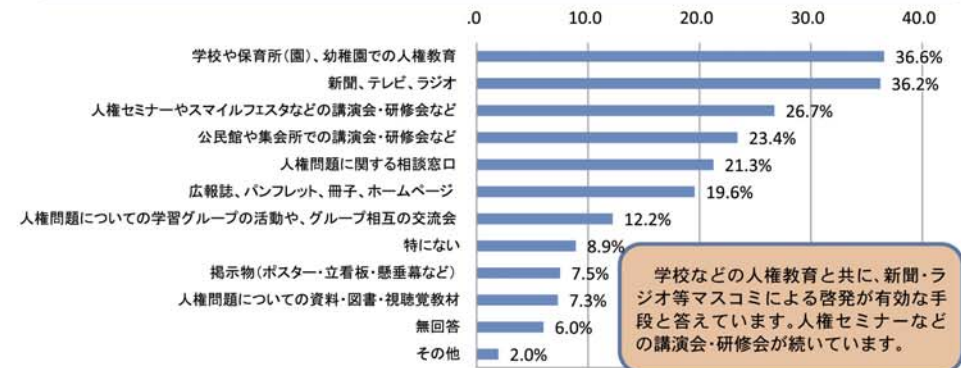
年齢別



校区別



問 人権問題の理解を深めるのに役立つと思われるもの(3つまで選択)



学校などの人権教育と共に、新聞・ラジオ等マスコミによる啓発が有効な手段と答えています。人権セミナーなどの講演会・研修会が続いています。

心豊かに、共に支えあい、安心して健やかに暮らせる、優しいまちづくり

八女市では、第4次総合計画の基本施策の一つに、「人としての尊厳が守れるまちをつくる」を掲げ、人権教育・啓発を積極的に推進いたします。

八女市における主な人権教育・啓発事業

【人権セミナー・巡回人権セミナー】



人権セミナー・やめ H22.9月

同和問題をはじめとする様々な人権問題をテーマとする講座を開設し、人権問題に対する理解を深め、人権尊重の精神の涵養を図ることを目的とします。



巡回人権セミナー(黒木会場) H22.8月

【人権のまちづくり市民の集い】

福岡県では7月を同和問題啓発強調月間と定めています。同和問題の早期解決を目指した取組みを実施します。



強調月間講演会(八女会場)



街頭啓発の様子



H23同和問題強調月間チラシ

【スマイルフェスタ】 1948年12月 第3回国際連合総会において世界人権宣言が採択されたことを記念し、12月4日から10日までを人権週間と定められ、人権尊重の普及高揚を図ることを目的として、多彩なイベントを実施します。



太田恭治氏・筑豊大介氏 人権講演会(八女)



藤井輝明氏 人権講演会(黒木)



人権のたね エコ風船飛ばし

《本調査に関するお問い合わせ先》 八女市教育委員会 人権・同和教育課

〒834-8585 福岡県八女市本町647
TEL:0943-23-2074 FAX:0943-24-4331